

実務経験のある教員による授業科目一覧：平成31(令和元)年度

担当教員名	授業科目名	履修学年	単位数	配置学科 またはコース	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
中山 政弘	カウンセリング論	2	2	地域みらい学科	病院をはじめとした様々な職種や対象にカウンセリングを実践している教員が、カウンセリングの実際についての説明をふまえてカウンセリングの進め方や自己理解の進め方について指導する。
久保 知里 藪 敏晴 横尾 敏史	インターンシップ	1	2	地域みらい学科	事前学修(指導)ののち、5日以上、事業所等での業務やプロジェクトに従事する。その後、事後指導で実務経験をフィードバックする事後学習を実施。授業の中心は、現場での実務経験の部分となり、現場の方の指導も含めた授業の内容である。

単位数計 4

担当教員名	授業科目名	履修学年	単位数	配置学科 またはコース	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
公門 勉	公衆衛生学	2	2	食とヘルスマネジメント コース	行政による公衆衛生業務に携わった経験者が、生活習慣病と健康の指標、感染症の予防、医療・介護の制度、地域・職域保健活動、環境問題について指導する科目である。
井上 俊孝	解剖生理学	2	2	食とヘルスマネジメント コース	31年医師として診療(麻酔科標榜医・社会医学系指導医・日本医師会認定産業医及び健康スポーツ医)。その間4年間老人保健施設施設長に従事し、さらに18年間訪問診療に従事、それらの実務経験を生かして、栄養士等として必要な医学的知識を得るために図表や動画を用いながら講義を主体に行う。
松尾 靖弘	食品衛生学	1	2	食とヘルスマネジメント コース	行政にて公衆衛生活動の経験のある教員が、食品衛生上の危害発生を防止するための食品の安全性確保等に係る知識及び技術の修得について、最新の情報を提示しながら指導する科目である。
松尾 靖弘	食品衛生学実験	1	1	食とヘルスマネジメント コース	行政にて公衆衛生活動の経験のある教員が、食品等における微生物及び理化学検査の実験・実習を指導し、栄養士として必要な衛生知識の習得を図る。
堀 民子	学校栄養教育概論	2	2	食とヘルスマネジメント コース	小学校での栄養士・教諭・管理職の経験を持つ教員が、学校給食の管理等に関すること、及び児童生徒への食に関する具体的な指導の内容や指導案作成などについて指導する。
堀 民子	食教育の実践論	1	2	食とヘルスマネジメント コース	小学校での栄養士・教諭・管理職の経験を持つ教員が、食教育に必要な食文化・食習慣等及び学校給食と健康や食習慣の内容、食教育の指導方法について指導する。
尾崎 加奈	給食管理	1	2	食とヘルスマネジメント コース	特定給食施設における給食経営管理経験のある教員が、定義、関連法規、目的、役割や業務内容について指導する科目である。
尾崎 加奈	給食管理実習 I	2	1	食とヘルスマネジメント コース	特定給食施設における給食経営管理経験のある教員が、定義、関連法規、目的、役割や業務内容について指導し、実践により理解を深める科目である。
原田 英昭 小川 隆紀	製菓実習	2	1	食とヘルスマネジメント コース	和菓子店、洋菓子店を営んでいる。専門家から、和菓子洋菓子それぞれの専門的な調理技術を実践的に学ぶ科目である。
菱岡 孝治	専門調理実習(和食)	1	1	食とヘルスマネジメント コース	和食料理店を営んでいる。専門家から、和食料理の専門的な調理技術を実践的に学ぶ科目である。
立岡 池敏	専門調理実習(中華)	2	1	食とヘルスマネジメント コース	中国料理店を営んでいる。専門家から、中国料理の専門的な調理技術を実践的に学ぶ科目である。
富永 茂樹	専門調理実習(洋食)	2	1	食とヘルスマネジメント コース	西洋料理店を営んでいる。専門家から、西洋料理の専門的な調理技術を実践的に学ぶ科目である。

単位数計 18

担当教員名	授業科目名	履修学年	単位数	配置学科 またはコース	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
末廣 洋祐	介護の基本Ⅰ	1	4	福祉とソーシャルケア コース	介護福祉士としての実務経験がある教員が、介護を必要とする人の尊厳ある生活を支援する専門職として、基本となる考え方を指導する科目である。
前山 由香里 一ノ瀬 和洋	介護の基本Ⅱ	1	4	福祉とソーシャルケア コース	介護福祉士と理学療法士としてのそれぞれの実務経験のある教員2名が、高齢者や障害者に対する理解を深めるために、生活環境の観点から指導を行う科目である。
前山 由香里	介護の基本Ⅲ	2	4	福祉とソーシャルケア コース	介護福祉士としての実務経験のある教員が、ケアマネジメントやリスクマネジメントについて指導を行う科目である。
前山 由香里 間島 恵子	介護コミュニケーション技術Ⅰ	1	1	福祉とソーシャルケア コース	介護福祉士としての実務経験のある教員が、対人援助職としての基本であるコミュニケーション技術について指導をこなう科目である。
前山 由香里 竹田 寿和	介護コミュニケーション技術Ⅱ	1	1	福祉とソーシャルケア コース	介護福祉士としての実務経験のある教員が、利用者の状況に応じたコミュニケーション技法やチームとしてのコミュニケーション技術について指導を行う科目である。
前山 由香里 末廣 洋祐	生活支援技術総論	1	4	福祉とソーシャルケア コース	介護福祉士としての実務経験がある教員が、視覚障がい・聴覚障がい・言語障がい・内部障害について形態別介護技術の方法を指導する科目である。
前山 由香里 末廣 洋祐	生活支援技術Ⅱ(身じたく・移動・入浴)	1	2	福祉とソーシャルケア コース	介護福祉士としての実務経験がある教員が、ICFに基づいた生活支援(身じたく、入浴・清潔保持、移動)について、演習を中心に指導を行う科目である。
前山 由香里 末廣 洋祐	生活支援技術Ⅲ(排泄・食事・睡眠)	1	2	福祉とソーシャルケア コース	介護福祉士としての実務経験がある教員が、ICFに基づいた生活支援(排泄・食事・睡眠)について、演習を中心に指導を行う科目である。
坂本 一恵	生活支援技術Ⅳ(ターミナルケア)	2	2	福祉とソーシャルケア コース	看護師としての実務経験がある教員が、尊厳あるターミナルケアについての基礎知識と生活支援・医療との連携、在宅や施設におけるターミナルケアについての演習を中心に指導を行う科目である。
前山 由香里 竹中 真司 末廣 洋祐	介護過程演習Ⅰ	1	1	福祉とソーシャルケア コース	介護福祉士としての実務経験がある教員が、個別介護計画書の作成(介護福祉実習Ⅰ-①で関わった利用者を対象にして、生活課題を導き出すまでの過程を中心に)についての指導を行う科目である。
前山 由香里 竹中 真司 末廣 洋祐	介護過程演習Ⅱ	2	1	福祉とソーシャルケア コース	介護福祉士としての実務経験がある教員が、個別介護計画書の作成(介護福祉実習Ⅰ-②での対象者に対し、介護計画を立案する過程、及び介護福祉実習Ⅱで立案した介護計画を実施し、それに対する評価方法の習得)についての指導を行う科目である。
前山 由香里 竹中 真司 末廣 洋祐	介護過程演習Ⅲ	2	2	福祉とソーシャルケア コース	介護福祉士としての実務経験がある教員が、個別介護計画書の作成(介護福祉実習Ⅱで関わった対象者の介護計画の立案、実施、評価)及び事例研究発表のための資料作成や発表についての指導を行う科目である。
前山 由香里 竹中 真司 末廣 洋祐	介護総合演習Ⅰ	1	2	福祉とソーシャルケア コース	専門科目で学んだことを実習先で役立てられるよう、介護福祉士としての実務経験がある教員が、実習前、実習中、実習後の指導を行う科目である。
前山 由香里 竹中 真司 末廣 洋祐	介護総合演習Ⅱ	2	2	福祉とソーシャルケア コース	介護福祉士としての実務経験がある教員が、実習Ⅰの事後指導、次段階実習の事前指導、生活支援技術、他職種との連携などについて指導を行う科目である。
前山 由香里 竹中 真司 末廣 洋祐	介護実習Ⅰ	1	6	福祉とソーシャルケア コース	習得した介護福祉の専門的知識や技術を実際に現場で応用し、総合的に利用者の日常生活の援助ができる能力を養うために、介護福祉士としての実務経験がある教員が巡回指導を行う科目である。

前山 由香里 竹中 真司 末廣 洋祐	介護実習Ⅱ	2	4	福祉とソーシャルケア コース	介護実習Ⅰで明らかになった個々の課題について目標を立てて取り組むとともに、対象者に対する介護過程の展開を通して介護福祉士としての実践的な能力を養うために、介護福祉士としての実務経験がある教員が巡回指導を行う科目である。
植木 明子	発達と老化の理解Ⅰ	1	2	福祉とソーシャルケア コース	小児科外来・産婦人科病棟・内科外来・混合外科病棟・内科一般病棟にて看護師として実務経験を有する教員が人間の発達について心理・身体的・社会的側面からの生まれてから高齢者までの発達について教授し、発達理論、老年期の喪失体験の疑似体験から喪失過程を学ぶ、高齢期に起こりやすい病気について教授する科目である。
植木 明子	発達と老化の理解Ⅱ	1	2	福祉とソーシャルケア コース	小児科外来・産婦人科病棟・内科外来・混合外科病棟・内科一般病棟にて看護師として実務経験を有する教員が人間の発達について心理・身体的・社会的側面からの生まれてから高齢者までの発達について教授し、発達理論、老年期の喪失体験の疑似体験から喪失過程を学ぶ、高齢期に起こりやすい病気について教授する科目である。
小川 佐俊	認知症の理解Ⅰ	1	2	福祉とソーシャルケア コース	精神科医として認知症診察の実際、介護保険審査会での審査、保健所での相談業務等の実務経験を有する教員が、認知症の医学的側面、行動及び心理の背景、これからのケアの方向性などを中心に指導を行う科目である。
前山 由香里	認知症の理解Ⅱ	2	2	福祉とソーシャルケア コース	介護福祉士としての実務経験のある教員が、認知症に関する基礎知識や、認知症の人、その家族を支える介護知識について指導を行う科目である。
前山 由香里	障害の理解Ⅰ	1	2	福祉とソーシャルケア コース	介護福祉士としての実務経験のある教員が、障害の概念や障害者福祉の基本理念、障害種別ごとの生活支援について指導を行う科目である。
前山 由香里 北古賀 雄三	障害の理解Ⅱ	2	2	福祉とソーシャルケア コース	介護福祉士としての実務経験のある教員が、精神障害、発達障害、難病、家族への支援方法、他職種連携について指導する科目である。
井上 俊孝	こころとからだのしくみⅠ	1	4	福祉とソーシャルケア コース	31年医師として診療(麻酔科標榜医・社会医学系指導医・日本医師会認定産業医及び健康スポーツ医)。その間4年間老人保健施設施設長に就任し、さらに18年間訪問診療に従事、それらの実務経験を生かして、介護福祉士等として必要な医学的知識を得るために図表や動画を用いながら講義を主体に行う。
植木 明子	こころとからだのしくみⅡ	2	4	福祉とソーシャルケア コース	小児科外来・産婦人科病棟・内科外来・混合外科病棟・内科一般病棟にて看護師として実務経験を有する教員が生活援助に関するこころとからだのしくみについて実際の介護現場で出会う対象者の生活支援技術の根拠となる知識について教授する科目である。
植木 明子	医療的ケア(講義)	2	4	福祉とソーシャルケア コース	小児科外来・産婦人科病棟・内科外来・混合外科病棟・内科一般病棟にて看護師として実務経験を有する教員が医療的ケアの医療の倫理や喀痰吸引・経管栄養を受ける対象者の健康管理、実施の技術に関することについて教授する科目である。
植木 明子	医療的ケア(演習)	2	1	福祉とソーシャルケア コース	小児科外来・産婦人科病棟・内科外来・混合外科病棟・内科一般病棟にて看護師として実務経験を有する教員が実際に喀痰吸引・経管栄養をシミュレーションをとおして学ぶ実技演習科目である。
高木 京子 荒川 国子	福祉メイク	1	2	福祉とソーシャルケア コース	美容・メイク関係の会社を運営している教員が、福祉の現場で必要とされるハンドマッサージ及び基礎的なエナメルアートネイルの理論と方法を、実践的に指導する科目である。
高木 京子 荒川 国子	福祉メイク実習	2	1	福祉とソーシャルケア コース	美容・メイク関係の会社を運営している教員が、福祉メイク(ハンドマッサージ、ネイル)について学んだことを活かし、現場で実践を行い指導する科目である。

単位数計 70

担当教員名	授業科目名	履修学年	単位数	配置学科 またはコース	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
山口 今日子	予防医学	1	2	健康とホスピタリティ コース	大学附属病院の看護師として実務経験のある教員が、病気を予防するための公衆学に関する知識から、生活や仕事に役だつように教育・指導する科目である。
西津 浩平	薬理概論	2	2	健康とホスピタリティ コース	25年の実務経験を有する現役薬剤師が、養護教諭に必要とされる薬物治療や基礎疾患知識、並びに薬物乱用問題に焦点を当てた授業を展開。薬理概論という教科を通じて、養護実務、保健、日常生活に役立つ知識習得とホスピタリティーマインドの醸成を目指しています。
黒川 美恵子	医事法規一般Ⅰ	1	2	健康とホスピタリティ コース	大学附属病院等にて診療報酬請求事務及び看護助手の経験のある教員が、医療保険制度の仕組みから医療事務の基本的な点数算定、診療報酬明細書(レセプト)の作成・点検の仕方までを実践的に指導していく科目である。また、患者接遇に関しても、実体験を基に解説していく。
石丸 三記	医事法規一般Ⅱ	2	2	健康とホスピタリティ コース	病院にて保険請求事務の経験等のある教員が、調剤や調剤報酬請求について、又、医師事務作業補助者に必要な知識・スキル等について実践的に指導していく科目である。
黒川 美恵子	診療報酬請求事務	1	2	健康とホスピタリティ コース	大学附属病院等にて診療報酬請求事務及び看護助手の経験のある教員が、診療報酬請求における関係知識の基本を修得(定着)することを目的に、検定基礎問題の解説をベースに指導する科目である。
黒川 美恵子 野田 陽一郎	医療事務演習Ⅰ	1	1	健康とホスピタリティ コース	大学附属病院等にて診療報酬請求事務及び看護助手の経験のある教員が、「医事法規一般Ⅰ」の内容を踏まえ、主に検定に焦点をあわせて指導する科目である。
石丸 三記 野田 陽一郎	医療事務演習Ⅱ	2	1	健康とホスピタリティ コース	病院にて保険請求事務の経験等のある教員が、「医事法規一般Ⅱ」の内容を踏まえ、主に検定に焦点をあわせて指導する科目である。
石丸 三記	医事コンピュータⅠ	1	1	健康とホスピタリティ コース	病院にて保険請求事務の経験等のある教員が、実際の医療現場にて使用されているシステムを用い、医療事務に必要なPC技能を身に付けさせる科目である。
山口 今日子	衛生学	1	2	健康とホスピタリティ コース	大学附属病院の看護師として実務経験のある教員が、衛生学の知識からより生活や仕事に役だつように教育・指導する科目である。
白濱 洋子	学校環境衛生	1	2	健康とホスピタリティ コース	養護教諭として小学校・中学校の保健室で勤務した経験から、学校教育における学校環境衛生の重要性を理論と器具を用いて測定の実技を指導する。
白濱 洋子	学校保健	1	2	健康とホスピタリティ コース	小学校・中学校に勤務経験を持つ養護教諭が、保健室経営や学校保健組織また養護教諭の執務内容について、事例を通して具体的に解説して演習を行う。
堀 民子	栄養学	1	2	健康とホスピタリティ コース	小学校での栄養士・教諭・管理職の経験を持つ教員が、養護教諭として必要な栄養素や栄養に関する内容や児童生徒等への指導方法について指導する。
井上 俊孝	解剖生理	1	2	健康とホスピタリティ コース	31年医師として診療(麻酔科標榜医・社会医学系指導医・日本医師会認定産業医及び健康スポーツ医)。その間4年間老人保健施設施設長に従事し、さらに18年間訪問診療に従事、それらの実務経験を生かして、養護教諭その他として必要な医学的知識を得るために図表や動画を用いながら講義を主体に行う。
御厨 猛男 松尾 靖弘	微生物学	2	2	健康とホスピタリティ コース	行政にて公衆衛生活動の経験のある教員が、微生物による感染症等の疾病及び免疫等について指導すると共に、医療・保健スタッフの一員としての科学的考え方や応用する力を身に付けさせる。
山口 今日子	看護学	1	4	健康とホスピタリティ コース	大学附属病院の看護師として実務経験のある教員が、看護・養護について看護過程やフィジカルアセスメントの実践が行えるように、基礎知識について教育・指導する科目である。
山口 今日子	看護実習Ⅰ	1	2	健康とホスピタリティ コース	大学附属病院の看護師として実務経験のある教員が、フィジカルアセスメントの実践が行えるように基礎的知識やシミュレーショントレーニングの教育・指導する科目である。

山口 今日子	看護実習Ⅱ(臨床実習を含む)	2	2	健康とホスピタリティ コース	大学附属病院の看護師として実務経験のある教員が、看護学・看護実習Ⅰでの学習や実践の力を深めることで、現場での実践能力が向上できるよう教育・指導する科目である。
白濱 洋子	救急処置法	1	2	健康とホスピタリティ コース	小学校・中学校に勤務経験を持つ養護教諭が、学校で行う救急処置について、事例を通して具体的に解説し、演習や実技の指導をする。

単位数計 35

担当教員名	授業科目名	履修 学年	単位 数	配置学科 またはコース	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
網代 信子	日本文化演習(礼法・茶道)	1	1	グローバル共生コース	茶道教室を運営する教員が、茶道の実践を中心に授業を行う。茶道文化を通じて、礼法についても修得させる科目である。
横尾 敏史	地域職場研究Ⅱ	1	2	グローバル共生コース	地場の銀行で企業支援に携わる現役行員かつキャリア教育を主体とするNPO法人のファウンダーである教員が、永年にわたる地域企業への支援実績等をもとに企業研究の方法について事例等を活用しながら指導する。
藪 敏晴 横尾 敏史	地域職場研究Ⅲ	2	2	グローバル共生コース	地場の銀行で企業支援に携わる現役行員かつキャリア教育を主体とするNPO法人のファウンダーである教員が、永年にわたる地域企業への支援実績等をもとに、就職の際の受け入れ企業側のニーズの理解に視点をおいて授業を行う。
荒川 国子	業界研究(ブライダル)	2	2	グローバル共生コース	ブライダルサロン等を経営・運営する教員が、フォーマルウェアの歴史について解説後、実際に現場に出向き、ブライダルに関する知識を実践的に指導する科目である。
中島 恵美	業界研究(ツーリズム)	1	2	グローバル共生コース	国内線、国際線の客室乗務員を経験した教員が、エアラインやホテルの現状と業務内容についてを理解させる科目である。ディスカッションや演習を交えて、ホスピタリティ産業だけでなく社会人基礎力の向上を目指す。
荒川 国子	メイク基礎理論	2	2	グローバル共生コース	美容・メイク関係の会社を運営している教員が、メイクについての理論の基礎を実践を交えて指導する科目である。
荒川 国子	メイクテクニック(基礎)	2	1	グローバル共生コース	美容・メイク関係の会社を運営している教員が、メイクについて基礎理論で学んだことを基に、実践を中心に指導する科目である。
荒川 国子	メイク応用理論	2	2	グローバル共生コース	美容・メイク関係の会社を運営している教員が、メイクについての応用的理論(TPOにあった様々なメイク)を実践を交えて指導する科目である。
荒川 国子	メイクテクニック(応用)	2	1	グローバル共生コース	美容・メイク関係の会社を運営している教員が、メイクについて応用理論で学んだことを基に、実践を中心に指導する科目である。
北野 由佳 朴 美善	韓国語(書く)Ⅰ	1	2	グローバル共生コース	会社の専任翻訳者としてビジネス韓国語の翻訳業務に携わった。書くことに特化した指導を行う。実務経験者である教員が文章表現の中の技法をひも解きながら指導する科目である。
北野 由佳 朴 美善	韓国語(書く)Ⅱ	1	2	グローバル共生コース	会社の専任翻訳者としてビジネス韓国語の翻訳業務に携わった。夏期休暇中に得た語学力を基に、実務経験者である教員が文章表現の中の技法をひも解きながら指導する科目である。
北野 由佳 長澤 雅春	韓国語(読む)Ⅰ	1	2	グローバル共生コース	韓国の会社の専任翻訳者として特許や契約書類を翻訳する業務に携わってきた教員が、いかに速く正確に文章を理解し伝えることができるかのスキルを含め指導をする科目である。
北野 由佳 長澤 雅春	韓国語(読む)Ⅱ	1	2	グローバル共生コース	韓国の会社の専任翻訳者として特許や契約書類を翻訳する業務に携わってきた。夏期休暇中に現地で得た語学力を基にスピードだけではなく正確度を高めるスキルを指導する。
北野 由佳 朴 美善	韓国語(聞く)Ⅰ	1	2	グローバル共生コース	韓国の大学で韓国語指導の経験を持つ教員が、ヒヤリングに特化した指導を行う。日本語話者が習得しにくい発音の変化をトレーニングを交えながら指導する科目である。

北野 由佳 朴 美善	韓国語(聞く)Ⅱ	1	2	グローバル共生コース	韓国の大学で韓国語指導の経験を持つ教員が、ヒヤリングに特化した指導を行う。夏期休暇中に現地で得た経験を土台に、より深く具体化に追求していく科目である。
北野 由佳 朴 美善	韓国語(話す)Ⅰ	1	2	グローバル共生コース	韓国の大学で専任講師として、国際シンポジウムでの韓国語通訳業務に携わった。韓国語の通訳実務経験者による文法を活かした韓国語会話を指導する。
北野 由佳 朴 美善	韓国語(話す)Ⅱ	1	2	グローバル共生コース	韓国の大学で専任講師として、国際シンポジウムでの韓国語通訳業務に携わった。夏期休暇中に現地で得た実力を基本に、より高いレベルを目指した韓国語会話を指導する科目である。
北野 由佳	中級韓国語Ⅰ	2	2	グローバル共生コース	会社の専任通訳翻訳者として国際会議等での実務経験を持つ教員が「読む・書く・聞く・話す」の4領域を偏りなく身に付けてもらうために実践を行う指導をする。
北野 由佳	中級韓国語Ⅱ	2	2	グローバル共生コース	会社の専任通訳翻訳者として国際会議等での実務経験を持つ教員が、「読む・書く・聞く・話す」の4領域ともに偏りなく身に付けることができるスキルを指導する科目である。
犬塚 まゆみ	図書館概論	1	2	グローバル共生コース	公共図書館の司書・館長として経験のある教員が、図書館の意義や機能等図書館全般について指導する科目である。
犬塚 まゆみ	図書館サービス概論	1	2	グローバル共生コース	公共図書館の司書・館長として経験のある教員が、直接住民と接し学んだことを基にして、各対象別の各種図書館サービスについて指導する科目である。
白根 恵子	児童サービス論	1	2	グローバル共生コース	公共図書館の児童サービス経験豊富な教員が、子どもにとっての読書活動の重要性や意義について指導し、子どもと本とを結びつける手立てを教授する科目である。
白根 恵子	情報サービス論	1	2	グローバル共生コース	公共図書館における参考調査業務担当として経験を積んだ教員が、レファレンスその他の情報サービスについて解説指導する科目である。

単位数計 43

担当教員名	授業科目名	履修学年	単位数	配置学科 またはコース	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
桑原 広治	教師論	2	2	こども未来学科	小学校教員としての実務経験に加え、幼稚園教諭の免許も有している教員が、教職意義及び教師の役割について、保幼小接続の視点も加え授業を展開する。また、「現場の事例」を取り入れ、「子ども、保護者、同僚」とのコミュニケーション(連携)をベースにした教師論の授業を展開している。
村岡 直子	保育課程論	2	2	こども未来学科	保育経験20年以上のキャリアを持ち、付属こども園の副園長も務める教員が、保育における計画立案の必要性・重要性を伝え、保育教育課程の原理・原則について指導を行う。指導に当たっては、常に保育現場とリンクした指導を展開する。
中村 由美子	保育内容総論	1	2	こども未来学科	保育経験のある教員が、実際の遊びを通して、子ども理解や遊びによる学びを理解し、非認知的能力を育てるための実践力を身に付けるように指導する。
中山 政弘	障害児保育	2	2	こども未来学科	病院での発達障害を持つ子どもの診断評価や支援、さらに幼稚園・保育園への巡回相談を行っている教員が、医学的な視点から発達障害についての解説を行うと同時に、障害特性をふまえた園での子どもたちへの関わり方についての指導を行う。
中山 政弘 園田 貴章	特別支援教育概論	1	1	こども未来学科	小学校等への巡回相談を行っている教員が、特別支援教育における障害特性に応じた子どもへの支援のあり方について解説を行う。
桑原 広治	教育行政学	1	2	こども未来学科	小学校教員として、管理職として、教育行政としての実務経験を持つ教員が、経験値の少ない学生に現場での「いじめ」「虐待」「体罰」「事故」等の具体的な事例と、法律を中心とした教育行政の理論とを融合させながら現場につながる授業を展開する。

単位数計 11

担当教員名	授業科目名	履修学年	単位数	配置学科 またはコース	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
桑原 広治 井手 一雄	保育・教職実践演習	2	2	こども教育コース	小学校教員としての実務経験に加え、幼稚園教諭の免許も有しての実務経験はもとより、保育園・幼稚園との共同研究を継続してきた立場として、また管理職として「一教員」としての姿勢を常に意識した授業を展開している。この授業では教科教育法や教育行政学、教師論等を総合的に、また教科横断的に活用できる能力を育成する授業展開は欠かせない。これらを踏まえ、教員として必要な資質・能力が身に付いたかどうか確認し、課題意識を持って取り組む授業である。
桑原 広治 井手 一雄	実習指導	1	1	こども教育コース	小学校教員として大学から受け入れた教育実習生の指導にあたってきた。一方、大学での授業では、現場で教育実習生を実際に指導してきた経験を踏まえて、2年間で最低限必要な実習の基礎基本を徹底して指導する。ここに、実務家教員が学生を送り出す側に立って指導する上で必要な内容は必然的に把握している立場から、実習指導を展開できることに意義がある。ただし、実習指導のポイントは、各教科で行われる指導法を踏まえた「模擬授業」を通して、学生の経験値を積み上げながら実習指導に取り組む必要がある。ここに、大学と現場の乖離の溝を少なくして、現場に送り出すことに指導の意義があると考えている。
桑原 広治 井手 一雄	教育実習	1	4	こども教育コース	小学校教員としての経験や管理職の経験の立場から短期大学における実習指導の難しさは授業における「話し方」にある。学生は「一方的」な話し方になりやすい。いわゆる、学生が「授業コミュニケーション」ができるかどうかにかかっている。この解決には、日常の教科における模擬授業において最低限の授業技術を修得させて教育実習に送り出す責務がある。その上で、学生には個々に問題意識を持たせて現場の先生の指導を受ける教育実習のメカニズムを理解させている。これを前提にして実習の巡回指導を行うほか、事後指導においては教師としての指導力が身に付けられるように特に力を入れ、実践的に指導を行う。
桑原 広治	生活科要説	1	1	こども教育コース	小学校教員としての実務経験はもとより、3年間にわたって「初任者教員研修担当教員」として、すべての教科等の指導に関わってきた教員が、生活科誕生の背景や生活科の目標・内容等を解説及び学修計画の分析・立案を指導し、生活科の特性を理解させる科目である。
桑原 広治	社会科教育法	2	2	こども教育コース	小学校教諭としての経験や管理職経験のある教員が、社会科における目標と内容について解説し、指導案作成から学習活動の展開を指導していく。模擬授業の実施にあたっては、教材研究はもとより、授業後の「授業研究会」までセットで取り組むことが必須であるため、教育実習とも連携し、指導力が身に付くよう実践的に指導を行う。
桑原 広治	生活科教育法	1	2	こども教育コース	小学校教諭としての経験や管理職経験のある教員が、生活科における目標と内容について解説し、指導案作成から学習活動の展開を指導していく授業である。基礎理論を踏まえつつ、授業スキルを定着させていくため、模擬授業や「現場教師招聘」をタイムリーに計画していき、より実践的な指導を行う。
桑原 広治	特別活動の指導法	2	2	こども教育コース	小学校教員として勤務経験のある教員としての経験から、特別活動について意義や課題など、基礎的知識の修得をより実践的に指導する。特別活動の最大の課題は「学級経営」を支える「話し合い活動」の指導技術である。また、特別活動の授業でのポイントは、常に他教科で体得したグループワークや司会技術などを取り入れることで授業がより実践的なものに展開していくことを理解させている。このように話し合い指導の基本スキルから学校行事等の代表委員会に連動する指導方法を展開する。

単位数計 14

担当教員名	授業科目名	履修 学年	単位 数	配置学科 またはコース	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
山口 今日子	子どもの保健	1	2	こども保育コース	大学附属病院の看護師として実務経験のある教員が、保健的観点を踏まえた支援が実践できるように、衛生管理・事故防止・感染対策等をガイドランに基づき教育・指導する科目である。
山口 今日子	子どもの健康と安全	1	1	こども保育コース	大学附属病院の看護師として実務経験のある教員が、子どもの心身の健康増進に向けた支援が行え、また多職種連携が実践できるように教育・指導する科目である。
白浜 喜恵子	乳児と看護	2	2	こども保育コース	小児看護(看護師として)と母子保健(保健師として)の実務経験をもつ教員が、乳児の成長と発達および養護について指導する科目である。
相浦 雅子 中村 由美子	子育てサポートの理論と実際Ⅱ	1	1	こども保育コース	子育て支援の経験がある教員が、子育て支援の実践事例や現場の視察、実態に親子に関わる経験を通して子育て支援の理解を深める。
相浦 雅子 中村 由美子	子育て支援演習	2	2	こども保育コース	子育て支援の経験がある教員が、子育て支援実践を通して、親子への関わりや支援者としての視点や配慮、援助ができるような実践力を習得させる。
中山 政弘	発達障害の理解	1	2	こども保育コース	病院での発達障害を持つ子どもの診断評価や支援を行っている教員が、発達障害の概要や支援を取り巻く状況について解説する。
中山 政弘	発達障害児援助技術	2	1	こども保育コース	幼稚園・保育園への巡回相談を行っている教員が、園における活動や日常生活での関わり場面における具体的な関わり方についての指導を行う。
中山 政弘	発達障害指導計画	2	1	こども保育コース	幼稚園・保育園への巡回相談を行っている教員が、園における活動等における障害特性をふまえた指導案作成の方法についての指導を行う。

単位数計 12

(公表日：令和元年7月11日)